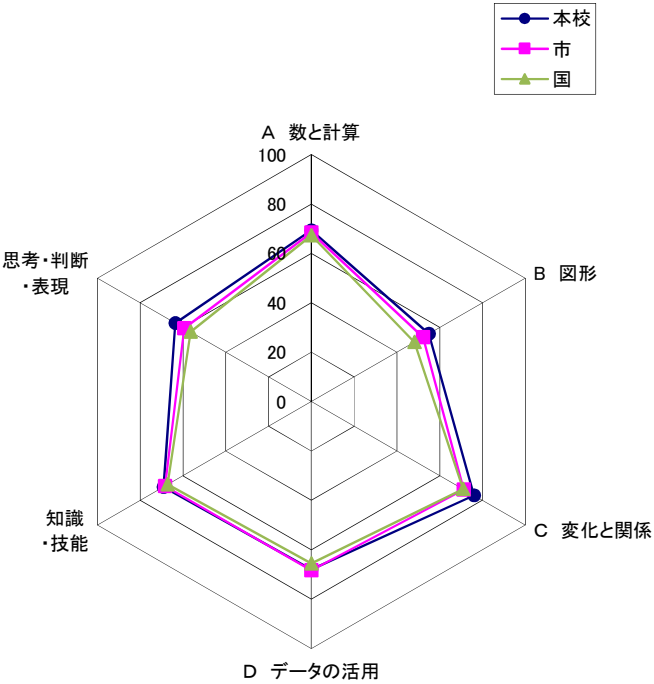


宇都宮市立錦小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	69.3	68.4	67.3
	B 図形	54.9	52.2	48.2
	C 測定			
	D 変化と関係	76.0	71.2	70.9
	E データの活用	68.0	68.3	65.5
観点	知識・技能	69.1	68.4	67.2
	思考・判断・表現	63.6	59.4	56.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	- 平均正答率は、国の平均よりやや高い。 ○(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる問題では、正答率が60.8%で国より13.2ポイント高かった。 ○日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する問題では、正答率が68.6%で、国より11.9ポイント高かった。 ●一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる問題では、正答率が70.6%で、国より10.2ポイント低かった。	朝の学習や宿題などで、一の位が0の乗法だけでなく、除法も含めて、既習の計算問題を繰り返し復習する機会をつくり、確実に定着するように指導する。さらに、加法・減法・乗法・除法の基本的な技能の習得を図る。
B 図形	- 平均正答率は、国の平均より高い。 ○台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題の正答率は78.4%で、国より18.6ポイント高かった。 ●正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題の正答率は23.5%と低く、国の正答率より1.4ポイント低かった。	- 図形の性質や構成要素に関する基本的な知識・技能を今後も高めていく。 ・台形についての理解度は高かったため、いろいろな三角形、四角形、円の意味や性質について、作図も含めて定着するよう、練習問題に取り組む機会を設けて指導していく。
C 変化と関係	- 平均正答率は、国の平均より高い。 ○伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる問題では、正答率が96.1%と高く、さらに国より7.6ポイント高かった。 ○比例関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題の正答率は62.7%で、国より7.2ポイント高かったがやや正答率が低かった。	・日常生活の場面を使って、伴って変わる二つの数量を表で表したり、表した表から規則性を見付けたりする活動を取り入れ、比例関係についてより理解できるように指導する。
D データの活用	- 平均正答率は、国の平均よりやや高い。 ○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、国より4.6ポイント高かったものの正答率は60.8%と、やや課題がみられる。	・2つの棒グラフを比較して友達と話し合ったり、いろいろな表やグラフを使った練習問題に取り組んだりする活動をしながら、データ活用能力を育成していく。 ・統計的な問題解決活動を充実させることができるよう、日常生活や社会の事象と関連した事例を取り入れ、データを活用して判断したり、考察したり表現したりすることができるよう指導する。